

教科・科目	【音楽Ⅰ】	単位数：2単位 履修年次：1年次
目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。	
教材	音楽Ⅰ Tutti+（教育出版） 高校生のための新・楽典ワーク（ドレミ楽譜出版） はじめてのバイオリン（カワイ出版） ミュージックノート（教育出版）	
学習方法	学習方法（留意事項） 授業は、歌唱や器楽、創作、鑑賞の実技が中心の科目です。单元ごとに目標を定め、自己評価や反省を繰り返すことで、着実に技能を習得していけるよう積極的に授業に参加してください。また、技能や表現力をより高めるためには、音楽的な知識（楽典など）やソルフェージュ力が必要です。ワークシート等を丁寧に記入し、配付されたプリントや楽譜はフラットファイル等にまとめるよう心がけて下さい。予習復習が難しい科目ですので、毎回の授業に集中して取り組むことが最善の学習方法となります。	

● [評価規準・評価方法・めざす資質と能力]

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かな関わり主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	小テスト 実技テスト	小テスト 実技テスト	授業態度 レポート
麻高G P	 1 自律性  2 協働性  3 主体性  4 課題解決能力  5 情報活用能力  6 実践・発信力  7 メタ認知能力  8 探究心  9 チャレンジ精神  10 レジリエンス力		

● [学習計画]

学期	月	学習内容	評価方法
前期	4月～ 5月	歌唱（斉唱、合唱）、楽典、聴音	小テスト
	6月～ 8月	歌唱（斉唱、合唱）、楽典、聴音	小テスト 実技試験
	9月	器楽（バイオリン）、楽典、聴音、鑑賞	小テスト 実技試験 レポート
後期	10月～ 11月	器楽（バイオリン）、楽典、聴音	小テスト
	12月～ 2月	器楽（バイオリン・リズム打ち）、楽典、聴音	小テスト 実技試験
	3月	鑑賞、楽典、聴音	小テスト レポート

● [評価基準]

	実技試験	小テスト	提出物	3観点別評価点小計	学期末・年度末の 観点別学習状況の評価	学期末・年度末 の評定
知識・技能	0～20	0～15	0～5	0～40	A ～ C	5 ～ 1
思考力・判断 力・表現力	0～20	0～15	0～5	0～40	A ～ C	
主体的に学習に 取り組む態度	0～7	0～7	0～6	0～20	A ～ C	

評価の内容	評価
「十分満足できる」状況と判断されたもの	A
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	B
「努力を要する」状況と判断されたもの	C

評定の内容	評価（ABC）の組み合わせ	評定
「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されたもの	AAA,AAB	5
「十分満足できる」状況と判断されたもの	AAB,AAC,ABB,ABC,BBB	4
「おおむね満足できる」状況と判断されたもの	ABC,BBB,BBC,ACC,BCC	3
「努力を要する」状況と判断されたもの	ACC,BBC,BCC,CCC	2
「努力を要すると判断されたもののうち、特に程度が低い」状況と判断されたもの	CCC	1